

私たちが、この道路を美しくしています。

～日本で一番美しい町づくりへ～

団体名：的場町内会有志

路線名：一般国道152号高遠バイパス

的場町内会有志の紹介

的場町内会有志は、地区の有志が集まり、平成18年6月に県の道路アダプトシステムを活用し、国道152号高遠バイパスの美化活動などを行うために設立された団体です。

毎年5月から10月にかけて、国道沿いの歩道に約1500本のマリーゴールドを育て、黄色や橙色の色鮮やかな花々で、通行人やドライバーの目を楽しませています。また、街路樹の手入れ、草刈りやゴミ拾いといった歩道の清掃を、自分たちの庭のような気持ちで精力的に行っています。

こうした活動が高く評価され、昨年度は「道路河川愛護活動知事表彰」を受賞しました。

アダプトシステムとは？

個人や地域住民団体などがボランティアで行う歩道等の美化活動や植樹帯の維持管理を県が支援をする制度です。現在、伊那建設事務所管内では40団体がアダプトシステムを利用した活動を行っています。



5月頃



6月～10月頃

有志の皆さん



一問一答

回答者：小林 徳三 会長
矢沢 親男 前会長

Q：活動への思いは？

「自分たちの道路だ」という基本的な姿勢で、汚れたら当たり前のように清掃を行っている。自分たちが住むところは、自分たちで守らなければならないという思いがある。

Q：活動の成果は？

地域の皆さまに「きれいだ」と褒めていただいている。花を植え、道路をきれいにしたことで、ゴミのポイ捨てもかなり少ない。

なにより活動を通じて、会員の親睦が深められたことが一番の成果だ。

Q：今後の活動について

今後もできる限り長く続けていきたいが、参加者の高齢化など限界があり、ぜひ若い人にも参加をしてもらいたい。他の地区の方々にもこうした活動にぜひ参加してほしい。

また、上伊那地域のアダプト団体の意見交換会の場を設けていただき、活動方法や課題などを共有し、より良い活動にしていきたい。

ご回答ありがとうございました。

今後ともよろしくお願いたします。